

カリフォルニア州アナハイムで小児患者の根管治療で細菌感染が発生しました。ユニットのフラッシングを怠った可能性があるとのレポートです。

CNN 2016年10月12日 カリフォルニア州アナハイム

根管治療で使った水で小児患者がマイコバクテリウムアブセッサスに感染

小児 30 人が南カリフォルニアの病院で治療を受けることになった。長期的な健康被害をもたらす可能性がある突然の感染の発症により、歯科医院における水の細菌感染のリスクについての意識が高まった。

この 30 人は「乳歯の根管」治療で歯髄切断治療を行っており、治療中に使用されたユニット水で感染したとオレンジ郡ヘルスケア局の **Dr. Matthew Zahn** は述べている。

アナハイムの小児歯科医院グループで今回の感染原因を究明しており、3 歳から 9 歳の子供が 3 月から 7 月に同医院で治療を受けているとしている。

Dr. Zahn は、数百名がこれらの歯髄切断を受けており、ここ数週間から数ヶ月で、この症状を訴える患者が増えること示唆した。また、マイコバクテリウムアブセッサスと呼ばれる感染症は、症状の発現が遅く数週間から数ヶ月かかることもあると述べた。

感染した歯牙周辺には、腫れ、発赤、痛みなどが起き、細菌は歯茎や顎骨まで及ぶことも頻繁にある。これらの症状の場合は、感染を抑えるには顎の一部を切除することになり、これらの「小児患者には長期的な問題」となる。

調査当局は、細菌は水が流れず少し滞留する程度で繁殖すると考えている。歯科診療では、治療中にユニット水が使用され、歯牙を覆うときには細菌を歯牙の内部に閉じ込めことになる。

「弱毒菌」と呼ばれるマイコバクテリウムアブセッサスに接触しても、殆どの人が日常生活の中で簡単に洗い流していると **Dr. Zahn** は述べている。しかし、歯髄切断の治療を受けた患者は、歯牙の内部の感染エリアに到達することができない。

この歯科医院を訪問し、まず自身で歯のクリーニングを受けた **Cecilia Roman** さんは、彼女の子供にも起こりえたと訴えた。結局、彼女は 3 本の歯を抜いて、顔が腫れた。**Roman** さんは「娘をがっかりさせてしまった」と、CNN ネットワークの **KCBS/KCAL** につげた。

感染原因を調査中

カリフォルニアの歯科委員会は、アナハイムのこの小児歯科医院グループの事務所で、適切な手順が実施されていたかを調査している。このグループはカリフォルニア州で他の歯科医院も運営しており、これらの医院では院内感染は起こっていない。

カリフォルニア州は、歯科委員会の基準に従い、毎日ユニットの水路管をエアードで洗浄するか、あるいは水でフラッシングを最低 2 分間行うことを義務化している。

歯科委員会のスポークスマン Joyia Emard 氏は、「行うべき手順が、きちんと実施されていたか」を確認したいと述べた。

この歯科医院は診療を続けており、国と州の合同調査に協力している。調査結果が明らかとなるまで、現在は水路管を使用していない。この小児歯科医院グループは水路管を交換し、水質を継続的にモニタリングすると CNN に伝えた。

親からはこの歯科医院はもっと早くに対処できたはずだ、患者の安全より利益を優先したという声があがっている。

「歯科医師免許の取り消しをして欲しい。」「あの歯科医院は閉院するべきだ。」と Roman さんは言っている。

オレンジ郡のこの調査を行っている調査責任者 Dr. Zahn は、この歯科医院がいつ院内感染と患者にリスクがあることに気づいたのかは明確ではない。歯科医師がこのような症状を診断するにはおそらく時間を要するだろうと述べた。

Dr. Zahn は「あえてその細菌を探して培養しない限り、発見するのは困難だ。細菌が現れてくるまでには時間がかかる。」としている。

調査報告では、小児歯科医院グループの代表取締役 Sam Gruenbaum 氏は、「患者さんが一人でもこのような状況になったことは遺憾である」と述べ、「患者さん一人ひとりの事前検査を確実に実施」するよう努めている。この医院で 3 月から 842 人の小児患者が歯髄切断治療を受けている。